

東神戸医療互助組合 2026年度 総代会方針(案)

2026年6月7日 定期総代会にて提案 ———— ダイジェスト版 ————

基本四課題 (仲間ふやし・出資金・担い手づくり・いつでも元気)

【方針】 ひとりぼっちをなくし、対話を広げ、
地域医療・介護を支える仲間と出資の輪を広げよう

【重点】
地域訪問・組合員訪問の重視(運動の土台)

- 地域訪問・組合員訪問を互助組合活動の原点として位置づけ、顔の見える関係を広げます。
- 年齢にかかわらず孤立しがちな方への声かけを強め、仲間ふやし・班会・出資へとつなげます。
- 対話を通じて地域や組合員の声を丁寧に受け止め、私たちの健康とくらしの要求を共有しながら、その実現に向けた取り組みを前進させます。

仲間ふやし

- 年間373名増(約15%増)を目標に、通年課題として計画的に取り組みます。
- 支部ごとの到達点や進捗事例を共有し、「達成感」を積み上げながら支部活動の充実を図ります。

出資金

- 出資金4,545件、増資7,890万円、出資実人数838人(約15%増)を目標に、通年課題として計画的に取り組みます。
- 純増3,000万円を目標に、小口出資を重視しながら、医療やくらし、事業所の役割を語り合う「対話をともなう出資」に取り組みます。
- 継続的な増資を広げ、地域医療を支える力を強めます。

担い手づくり

- 50世帯に1人の世話人目標を見据え、まずは各支部で新たな担い手を2人増やす「+2作戦」に取り組みます。支部の規模にかかわらず、全支部で一步の前進をめざします。それぞれの役割を明確にし、訪問活動のなかから丁寧な声かけを行います。上半期・下半期で進捗を確認し、経験交流を通じて着実な広がりをつくります。
- 職員の地域参加のあり方も検討し、共同の担い手づくりを進めます。

いつでも元気購読促進

- 支部・職場での積極的な学習利用を推進し、『いつでも元気』純増27部をめざします。
- 班会や健康づくり活動と結びつけた紹介・読み合わせなど、「対話につながる普及」を工夫します。
- 地域の実践や組合員の声を積極的に記事として発信し、誌面づくりに主体的に関わります。
- まなびと元気普及委員会を中心に購読状況を分析し、減誌防止対策や継続購読の工夫を具体化します。
- いつでも元気の職員購読率は14%です。職員購読率増を目指して、呼びかけの強化をおこないます。

学びと
全国交流

第17回共同組織活動交流集会や兵庫民区連の学術運動交流集会に積極的に参加します。学ぶだけでなく、私たちの班会・健康づくり・仲間ふやしの実践を演題として発信し、互いに高め合う取り組みとします。

班会・居場所活動

【方針】 班会活動を土台に、つながりを広げ、
安心して語り合える場をつくろう

【重点】

- 班会を互助組合の基礎単位として再確認し、健康やくらしを語り合える場の充実を図るとともに、62班から70班への拡大をめざします。あわせて誰もが参加しやすい雰囲気づくりや広報の工夫をすすめ、新たな仲間が加わる仕組みを整えます。支部内外の世話人や班の交流を広げ、支部を超えた学びと支え合いを通じて組織の強化をすすめます。

楽しい健康づくり・予防活動の充実

【方針】 気づきと予防を大切に、地域に
ひろがる健康づくりをすすめよう

【重点】

- 健康チェックの内容や方法を充実させ、地域の実情に合った活動として発展させます。ヘルスアップチャレンジや健康講座など、世代を超えて参加できる企画を広げるとともに、フレイル予防月間を設けて「指輪つかテスト」などの身近な取り組みを普及します。医療懇談会を通じて専門的な学びを地域に届けながら、組合員健診やがん検診を受けやすくする仕組みづくりをすすめます。

多彩で楽しい取り組み

【方針】 世代を超えて出会い、
関わり続けられる互助組合へ

【重点】

- これまで活動を支えてきた世代の経験を大切にしながら、新しい世代ともゆるやかにつながり、互助組合にふれる「入口」を広げます。世代ごとの生活スタイルや関心に応じた企画を工夫し、若者や現役・子育て世代も参加しやすい時間帯や内容で、支部・地域・オンラインなど多様な場で実施します。さらに単発の行事で終わらず、丁寧な声かけで継続的な参加と加入につなげます。

広報・情報発信の強化

【方針】 互助組合の強みを活かし、
紙面とデジタルでつながりを広げよう

【重点】

- 「健康いきいきNEWS」を中心に、組合員の声や職員の現場の思いが伝わる紙面づくりをすすめます。手配り協力者を広げて配達率95%（現在90%）をめざすとともに、支部ニュースの自主発行を定着させて発信力を高めます。さらにLINEやホームページ、SNSを活用し、若い世代や未接触層にも届く広報を強化して、つながりの広がりをつくります。

社会保障・平和・まちづくり運動

【方針】 いのちと暮らしを守る声を
地域から広げよう

【重点】

- 社会保障制度の拡充を求める運動をすすめ、マイナ保険証の強制や介護保険料の負担増、補聴器の高額化などの実態を集約して署名や自治体要請につなげます。憲法を暮らしに活かす立場から社会保障充実の声を広げるとともに、PFAS問題やバス問題、交通などの課題にも他団体と連携して取り組み、安全・安心のまちづくりをすすめます。

共和国との共同の営み

【方針】 組合員と職員がともに学び、
地域医療・介護を支える力を強めよう

【重点】

- 地域の声を共和国と共有し、現場の改善と法人経営の安定に活かします。班会や医療懇談会への職員参加をすすめ、顔の見える関係を築きながら、安心して受診できる環境を整えます。地域での対話や健康チェックを通じて医療機関とのつながりを強め、中長期構想と出資運動を一体で推進します。

互助組合会館の活用と拠点機能の充実

【方針】 交流と相談の拠点として、
地域にひらかれた会館へ

【重点】

- 会館を誰もが気軽に立ち寄れる場として活用し、季節行事や班会、学習会などを通じて日常的に人が集う拠点づくりをすすめます。地域に根ざした活動を通じて、そこから新たなつながりが広がる仕組みを強化します。



第50期 定期総代会のご案内

日時 2026年6月7日(日)
午前: 9時30分 開場 (午後: 1時 開会予定)
10時00分 開会
場所 兵庫県中央労働センター 2階 大ホール
● JR・阪神「元町」駅より西へ徒歩15分

完全版
2025年度のまとめ(案)と
2026年度のすすめ方(案)
はコチラから!

